

日本物理学会領域 2 役員会 議事録

日時: 2016 年 3 月 19 日 (土) 17:45-19:30

場所: 東北学院大学泉キャンパス AD 会場

司会: 領域 2 代表 藤澤彰英

書記: 領域 2 役員 本多充

出席者: 藤澤、本多、藤岡、井戸、難波、上杉、政宗、高橋、森田、斉藤、藤田、菊池

報告事項

明日の領域 2 運営会議の資料について確認を行った。以下、スライドに基づく議論。

1. 2016 年 4 月からの新役員体制と役割分担の確認
 - 次期代表は金沢大の上杉喜彦さん
 - 次期副代表に京都工繊大の政宗貞男さん
2. 2016 年 10 月からの新役員候補者について
 - 次期役員候補に東大・西浦正樹さん、京大・大島慎介さん、台湾中央大・蔵満康浩さんの 3 名を提案
3. 学生優秀発表賞に関する報告
 - 2015 年秋季大会では、応募総数 25 件、内 4 件を選出
 - 今回は 19 名の応募なので、選出は 3 名程度か
 - 22 日 CB 会場にて 13 時から審査。
4. 若手奨励賞 (第 10 回 (2016 年)) 受賞記念講演の案内
 - 九州大学高等研究院 助教 小菅佑輔さん
 - 核融合科学研究所 助教 沼波政倫さん
5. 2016 年秋季大会 招待・企画 (シンポジウム) 講演審議
 - 招待講演は無し。
 - 企画講演 (「大型レーザーを用いたワイベル不安定性による乱流磁場と無衝突衝撃波の生成」: 阪大 坂和洋一氏) 一件の提案があった。
 - シンポジウム (「実験室と宇宙プラズマの多階層複合物理シミュレーション」: 核融合研 藤堂泰氏) 一件の提案があった。
6. 2016 年年次大会講演数
 - 今年次大会は 141 件の講演。
 - 物理学会の全体の講演数は漸減傾向。特に基礎/科学は減ってきているか。
 - 企画セッションは提案があると、ML で議論した後、役員会と領域運営会議で議論。

7. 学会からの報告

- 男女共同参画。役員等に女性の参画を促すが、いかんせん母数が少ない。
- 若手奨励賞の基金。2002年の篤志家の寄付を元に賞状作成費用を負担。2040年までに使い切る。
- 若手ポスター賞の新設と費用。領域1,2,3,5が独自で学生賞を設定。費用を学会で負担してもらえるか。
- 会員マイページの使用開始（4月11日から）
- 会費値上げ。2016年から千円上がって正会員は12,000円に。その他は千円上がって8,000円に。
- 学部学生（4年生）ポスターセッションは今回核物理領域で行うが、全領域に拡大したい意向。会員になる必要もあるし、参加費も必要。おそらくパラレルセッションにはならないだろう。領域2としては、理念として賛成。
- Jrセッションの開催（21日）
- 物理学会設立70周年記念行事。日本から世界へ発信したことをハイライト展示。

8. 日本学術会議報告

- マスタープラン。理工系では小改訂。次期改訂も視野に。
- シンポジウム「物性物理学・一般物理学分野の展開と大型研究計画」があった。

9. AAPPS 報告及び提案（菊池さん）

- 物理学会領域2をAAPPS-DPPのグループ会員になって頂きたいという提案。領域2のMLメンバーはグループ会員になる、と考えるか。領域代表がグループ代表か。ML受信を希望しない物理学会員は申し出てくれればよい。これに関しては、決定事項として領域運営会議に諮る。
- AAPPS-DPP年会共催の可能性。外国（中国など）での開催となると、日本の参加者が減り講演数減に繋がらないか、との心配が事務局にはある。ただ、日本で開催する場合にAAPPS-DPPと合同にする、ということになるようだ。仮に共催にする（AAPPS-DPPの年会が物理学会に乗っかる形）ならば、全講演を英語にして欲しい。これに関しては、提案があったことを領域運営会議で報告する。

以下、スライドに基づかない議論。

1. 藤岡さんの留学に関する役員業務の割り振りについて

- 留学は再来年度から
- 学生賞の審査担当はプログラム副担当が引き継いでいたはずだが、どうするかは後に相談。

2. 3学会合同セッション（森田さん）

- 2018年3月、物理学会主担当で承認が取れた

以上